

令和4年度 湯沢市 市民満足度調査
報告書（分析）

令和4年7月
湯沢市

市民満足度調査報告書（分析）

1. 施策別の総合評価	1
1-1 施策別の満足度順位	1
1-2 施策別の重要度順位	2
1-3 満足度・不満足度の推移	3
1-4 満足度・重要度の加重平均	4
1-5 満足度・重要度の加重平均によるCS分析 （参考）調査票と報告書の項目名称の対応	5 8
2. 年代、地域別による評価	9
2-1 ライフステージ別	9
ライフステージ①	10
ライフステージ②	11
ライフステージ⑤	12
ライフステージ⑥	13
2-2 性別・年代・地域別の満足度順位	14
2-3 性別・年代・地域別の重要度順位	15
3. 設問間の相関関係	16
3-1 問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」との相関関係	17
3-2 問9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」との相関関係	18
3-3 問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」との相関関係	19
3-4 施策6「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」との相関関係	20
3-5 施策13「経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上」との相関関係	21
3-6 施策14「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」との相関関係	22
3-7 施策16「すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成」との相関関係	23
3-8 施策17「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」との相関関係	24
3-9 施策28「公共交通の整備と利用促進」との相関関係	25
3-10 施策29「まちの動脈となる道路等の整備」との相関関係	26
3-11 施策30「道路等除排雪体制の充実」との相関関係	27
4. 自由意見	28

1. 施策別の総合評価

(1-1) 施策別の満足度順位

➤ 「満足」「やや満足」の合計は、「安心な生活環境の構築」が最も高く、次いで「心身の健康を保つ活動の充実」「道路等除排雪体制の充実」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	満足度						満足度	前回値	差分
					満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答			
1	→	1	26	安心な生活環境の構築	15%	33%	48%	2%	2%	0%	47.8	42.5	5.3
2	↑	3	8	心身の健康を保つ活動の充実	12%	33%	45%	8%	1%	1%	44.6	40.0	4.6
3	↑	9	30	道路等除排雪体制の充実	10%	29%	41%	10%	1%	1%	39.8	34.9	4.9
4	↑	7	24	防災危機対策の推進	10%	29%	41%	10%	1%	1%	39.3	35.3	4.0
5	↓	4	10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	10%	29%	41%	10%	1%	1%	38.9	39.9	-1.0
6	↓	2	7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	10%	29%	41%	10%	1%	1%	37.4	40.4	-3.0
7	↑	11	20	学校教育の充実	10%	29%	41%	10%	1%	1%	35.2	33.5	1.7
8	↓	6	31	社会インフラの充実	10%	29%	41%	10%	1%	1%	34.5	37.6	-3.1
9	↓	5	9	充実した長寿生活の実現	10%	29%	41%	10%	1%	1%	34.0	38.9	-4.9
10	↓	8	4	情報発信力の強化	10%	29%	41%	10%	1%	1%	33.2	35.1	-1.9
11	↑	14	23	文化の保護・継承・活用	10%	29%	41%	10%	1%	1%	32.9	31.6	1.3
12	↑	21	5	生活困窮者と障がい者の自立支援	10%	29%	41%	10%	1%	1%	31.9	25.5	6.4
12	→	12	29	まちの動脈となる道路等の整備	10%	29%	41%	10%	1%	1%	31.9	33.3	-1.4
14	↓	10	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	10%	29%	41%	10%	1%	1%	29.7	33.6	-3.9
15	↑	17	21	生涯学習の推進	10%	29%	41%	10%	1%	1%	29.6	28.7	0.9
16	→	16	25	優れた自然環境の保全	10%	29%	41%	10%	1%	1%	29.0	29.2	-0.2
17	↓	15	14	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	10%	29%	41%	10%	1%	1%	28.9	31.1	-2.2
18	↓	13	22	スポーツ活動の推進	10%	29%	41%	10%	1%	1%	27.9	32.1	-4.2
19	↑	21	28	公共交通の整備と利用促進	10%	29%	41%	10%	1%	1%	26.9	25.5	1.4
20	↓	17	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	10%	29%	41%	10%	1%	1%	25.8	28.7	-2.9
21	↓	20	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	10%	29%	41%	10%	1%	1%	25.7	26.9	-1.2
21	→	21	13	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	10%	29%	41%	10%	1%	1%	25.7	25.5	0.2
23	↓	19	19	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	10%	29%	41%	10%	1%	1%	25.4	27.2	-1.8
24	→	24	1	市民が主役のまちづくりの推進	10%	29%	41%	10%	1%	1%	25.1	23.7	1.4
25	→	25	27	計画的な土地利用と市街地整備の推進	10%	29%	41%	10%	1%	1%	24.2	22.4	1.8
26	↑	27	11	産業を支える土台作り	10%	29%	41%	10%	1%	1%	23.1	20.4	2.7
27	↑	29	12	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	10%	29%	41%	10%	1%	1%	20.3	18.3	2.0
28	→	28	16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成	10%	29%	41%	10%	1%	1%	19.5	18.6	0.9
29	↓	25	15	観光客の受入環境の整備と観光推進団体の体制強化	10%	29%	41%	10%	1%	1%	19.4	22.4	-3.0
30	→	30	18	農山村交流及び国際交流の活性化	10%	29%	41%	10%	1%	1%	16.6	15.3	1.3
31	→	31	17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	10%	29%	41%	10%	1%	1%	16.2	13.0	3.2

0% 25% 50% 75% 100%

(1-2) 施策別の重要度順位

➤ 「重要」「やや重要」の合計は、「道路等除雪排雪体制の充実」が最も高く、次いで「地域医療体制の確立と経済的負担軽減」「安心な生活環境の構築」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	重要度	前回値	差分
1	→	1	30	道路等除雪排雪体制の充実	89.9	91.8	-1.9
2	→	2	10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	79.2	82.5	-3.3
3	→	3	26	安心な生活環境の構築	77.9	79.1	-1.2
3	↑	4	29	まちの動脈となる道路等の整備	77.9	77.8	0.1
5	↑	11	8	心身の健康を保つ活動の充実	77.3	72.7	4.6
6	↑	7	24	防災危機対策の推進	76.4	76.5	-0.1
7	↓	5	28	公共交通の整備と利用促進	75.1	77.3	-2.2
8	↓	6	20	学校教育の充実	74.4	76.8	-2.4
9	→	9	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	73.8	74.8	-1.0
10	→	10	9	充実した長寿生活の実現	71.9	74.3	-2.4
11	↑	13	14	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	71.8	70.5	1.3
12	↓	8	31	社会インフラの充実	70.6	75.5	-4.9
13	↑	19	16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成	69.8	64.9	4.9
14	↓	12	7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	69.6	70.8	-1.2
15	↑	16	13	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	68.8	66.6	2.2
16	↓	14	5	生活困窮者と障がい者の自立支援	68.2	68.2	0.0
17	↓	15	27	計画的な土地利用と市街地整備の推進	66.5	67.1	-0.6
18	↑	20	17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	66.3	64.3	2.0
19	↓	17	15	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進団体の体制強化	64.8	65.7	-0.9
20	↓	18	4	情報発信力の強化	63.3	65.2	-1.9
21	↑	22	11	産業を支える土台作り	62.9	62.4	0.5
22	↑	23	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	62.8	61.3	1.5
23	↓	20	25	優れた自然環境の保全	62.7	64.3	-1.6
24	→	24	21	生涯学習の推進	59.6	59.0	0.6
25	↑	26	12	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	58.7	56.7	2.0
26	↓	25	22	スポーツ活動の推進	57.0	57.0	0.0
27	↑	28	23	文化の保護・継承・活用	55.8	54.4	1.4
28	↑	29	1	市民が主役のまちづくりの推進	54.4	53.6	0.8
29	↓	27	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	52.7	55.0	-2.3
30	↑	31	18	農山村交流及び国際交流の活性化	47.9	38.6	9.3
31	↓	30	19	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	45.0	44.8	0.2

0% 25% 50% 75% 100%

(1-3) 満足度・不満足度の推移

① 満足度が上昇・不満足度が解消した施策

- ▶ 前年より満足度が上昇した施策は「生活困窮者と障がい者の自立支援」で6.4ポイント、「安心な生活環境の構築」で5.3ポイント、「道路等除排雪体制の充実」で4.9ポイントの増加となっている。
- ▶ 不満足度が解消された施策は「道路等除排雪体制の充実」で4.9ポイント、「地域医療体制の確立と経済的負担軽減」で3.7ポイント、「生活困窮者と障がい者の自立支援」で2.9ポイント減少している。

満足度が上昇した施策（上位3施策）

施策NO.	施策名	令和4年			令和3年			増減
		満足	やや満足	満足計	満足	やや満足	満足計	
5	生活困窮者と障がい者の自立支援	7.8	24.2	31.9	7.1	18.5	25.5	6.4
26	安心な生活環境の構築	14.2	33.6	47.8	13.0	29.5	42.5	5.3
30	道路等除排雪体制の充実	10.3	29.5	39.8	10.9	24.1	34.9	4.9

不満足度が解消した施策（上位3施策）

施策NO.	施策名	令和4年			令和3年			増減
		やや不満	不満	不満計	やや不満	不満	不満計	
30	道路等除排雪体制の充実	23.4	17.7	41.1	24.9	21.1	46.0	▲ 4.9
10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	14.6	7.9	22.5	15.5	10.7	26.2	▲ 3.7
5	生活困窮者と障がい者の自立支援	9.6	6.1	15.7	12.5	6.1	18.6	▲ 2.9

② 満足度が低下・不満足度が悪化した施策

- ▶ 前年より満足度が低下した施策は「充実した長寿生活の実現」で4.9ポイント、「スポーツ活動の推進」で4.2ポイント、「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」で3.9ポイントとなっている。
- ▶ 不満足度が悪化した施策は「文化の保護・継承・活用」で4.0ポイント、「観光客の受入環境の整備と観光推進団体の体制強化」で3.7ポイント、「すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成」で2.9ポイント減少している。

満足度が低下した施策（上位3施策）

施策NO.	施策名	令和4年			令和3年			増減
		満足	やや満足	満足計	満足	やや満足	満足計	
9	充実した長寿生活の実現	9.8	24.2	34.0	11.9	27.0	38.9	▲ 4.9
22	スポーツ活動の推進	5.9	22.0	27.9	8.7	23.4	32.1	▲ 4.2
6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	7.0	22.7	29.7	8.6	25.0	33.6	▲ 3.9

不満足度が悪化した施策（上位3施策）

施策NO.	施策名	令和4年			令和3年			増減
		やや不満	不満	不満計	やや不満	不満	不満計	
23	文化の保護・継承・活用	10.5	2.6	13.1	6.1	3.0	9.1	4.0
15	観光客の受入環境の整備と観光推進団体の体制強化	19.2	9.2	28.4	15.5	9.2	24.7	3.7
16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成	14.8	8.5	23.3	11.0	9.4	20.4	2.9

(1-4) 満足度・重要度の加重平均

各施策（31 項目）の満足度と重要度について、加重平均による数値化を行います。満足・重要に 2、やや満足・やや重要に 1、どちらともいえないに 0、やや不満・あまり重要でないに -1、不満・重要でないに -2 を乗じて、回答者数で除して数値化しています。数値が大きいほど満足度と重要度が高いといえます。

<算出例> ※安心な生活環境の構築

満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	総回答
回答者数	77	182	215	48	14	6	542
加重値	2	1	0	-1	-2	-	-

計算式： $(77 \times 2 + 182 \times 1 + 215 \times 0 + 48 \times (-1) + 14 \times (-2)) \div 542 \approx 0.48$

【満足度】



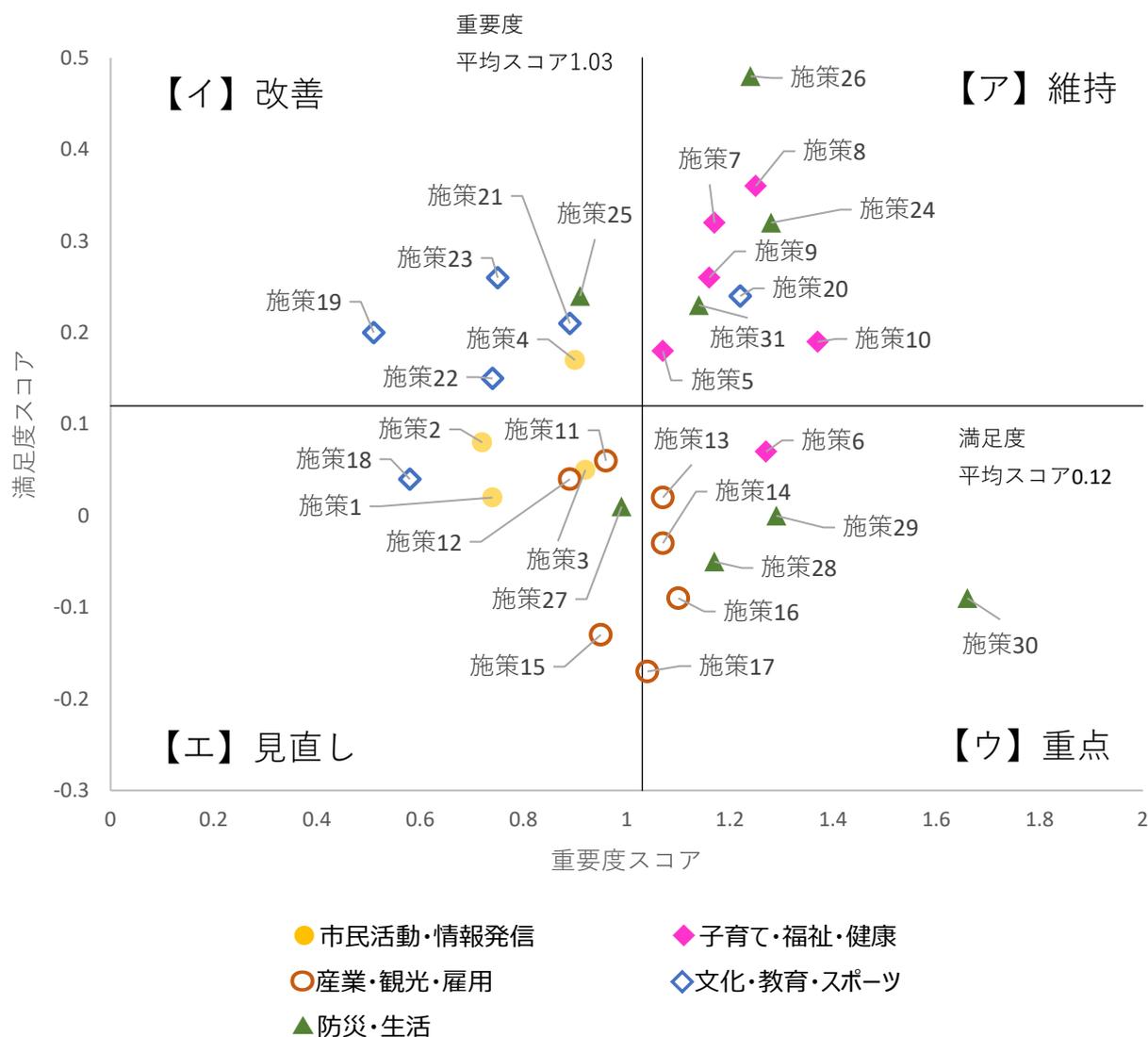
【重要度】



(1-5) 満足度・重要度の加重平均によるCS分析

各施策について算出した加重平均値を用い、満足度のスコアを縦軸に、重要度のスコアを横軸として散布図グラフを作成しCS（顧客満足度）分析を行います。

各平均スコアを境に【ア】【イ】【ウ】【エ】のエリアにプロットされた施策の位置から今後の方向性を検討します。



満足度と重要度による今後の方向性

	●	◆	○	◇	▲	合計
【ア】満足度高・重要度高（維持）		5		1	3	9
【イ】満足度高・重要度低（改善）	1			4	1	6
【ウ】満足度低・重要度高（重点）		1	4		3	8
【エ】満足度低・重要度低（見直し）	3		3	1	1	8
合計	4	6	7	6	8	31

【ア】満足度高・重要度高（維持）

⇒ この水準を維持しながら、より効率的な事務執行が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
◆	5	生活困窮者と障がい者の自立支援	0.18	1.07
◆	7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	0.32	1.17
◆	8	心身の健康を保つ活動の充実	0.36	1.25
◆	9	充実した長寿生活の実現	0.26	1.16
◆	10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	0.19	1.37
◇	20	学校教育の充実	0.24	1.22
▲	24	防災危機対策の推進	0.32	1.28
▲	26	安心な生活環境の構築	0.48	1.24
▲	31	社会インフラの充実	0.23	1.14

【イ】満足度高・重要度低（改善）

⇒ 費用対効果の見直しなど、事務事業の改善が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
●	4	情報発信力の強化	0.17	0.90
◇	19	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	0.20	0.51
◇	21	生涯学習の推進	0.21	0.89
◇	22	スポーツ活動の推進	0.15	0.74
◇	23	文化の保護・継承・活用	0.26	0.75
▲	25	優れた自然環境の保全	0.24	0.91

● 市民活動・情報発信

◆ 子育て・福祉・健康

○ 産業・観光・雇用

◇ 文化・教育・スポーツ

▲ 防災・生活

【ウ】満足度低・重要度高（重点）

⇒ 満足度を高めるため、重点的な取組が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
◆	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	0.07	1.27
○	13	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	0.02	1.07
○	14	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	-0.03	1.07
○	16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成	-0.09	1.10
○	17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	-0.17	1.04
▲	28	公共交通の整備と利用促進	-0.05	1.17
▲	29	まちの動脈となる道路等の整備	0.00	1.29
▲	30	道路等除排雪体制の充実	-0.09	1.66

【エ】満足度低・重要度低（見直し）

⇒ 予算や内容等、事務事業の抜本的な見直しが必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
●	1	市民が主役のまちづくりの推進	0.02	0.74
●	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	0.08	0.72
●	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	0.05	0.92
○	11	産業を支える土台作り	0.06	0.96
○	12	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	0.04	0.89
○	15	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進団体の体制強化	-0.13	0.95
◇	18	農山村交流及び国際交流の活性化	0.04	0.58
▲	27	計画的な土地利用と市街地整備の推進	0.01	0.99

● 市民活動・情報発信

◆ 子育て・福祉・健康

○ 産業・観光・雇用

◇ 文化・教育・スポーツ

▲ 防災・生活

(参考) 調査票と報告書の項目名称の対応

	分野	施策 No.	施策名	設問項目
1章	● 市民活動・情報発信	1	市民が主役のまちづくりの推進	地域の方々が主体的に取り組むまちづくり活動への支援やまちづくりの中心となる人材の育成など、「市民が主役のまちづくりの推進」に取り組んでいます。
		2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	若者等が企画するイベントの支援や、女性の社会参画機会の確保など、「年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進」に取り組んでいます。
		3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	ふるさと納税の推進や、ふるさと応援大使の委嘱、移住の働きかけや定住支援を行うなど、「ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進」に取り組んでいます。
		4	情報発信力の強化	広報紙をはじめ、様々な手段を活用して、市の情報や魅力を発信しているほか、市民ボランティアによるSNS配信チームを結成し、市内の新たな魅力や埋もれた魅力をPRするなど、「情報発信力の強化」に取り組んでいます。
2章	◆ 子育て・福祉・健康	5	生活困窮者と障がい者の自立支援	生活困窮者に対する自立・就労支援や、障がい者の社会参加・就業機会の確保など、「生活困窮者と障がい者の自立支援」に取り組んでいます。
		6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	結婚を希望する方への出会いのきっかけづくりのほか、子育て相談の充実や会員制の子どもの一時預かりなど、「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」に取り組んでいます。
		7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成	保育所・認定子ども園の延長保育等の費用補助や、放課後児童クラブの運営など、「保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成」に取り組んでいます。
		8	心身の健康を保つ活動の充実	健診の実施や人間ドック等の費用助成のほか、自費予防対策の促進など、「心身の健康を保つ活動の充実」に取り組んでいます。
		9	充実した長寿生活の実現	高齢者の社会参加と生きがい・健康づくりの推進のほか、福祉除雪・配食サービス等の在宅生活の支援など、「充実した長寿生活の実現」に取り組んでいます。
		10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	皆瀬診療所の運営や雄勝中央病院の医師確保対策のほか、高額療養費制度等の医療保険制度の健全な運営など、「地域医療体制の確立と経済的負担軽減」に取り組んでいます。
3章	○ 産業・観光・雇用	11	産業を支える土台作り	農地の整備事業や再造林の支援を行うほか、地場産業の原材料確保、後継者育成など、「産業を支える土台づくり」に取り組んでいます。
		12	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	農作物等のブランド化や地域産材（木材）の活用促進企業の販路拡大支援など、「付加価値と競争力の高いものづくりの推進」に取り組んでいます。
		13	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	高品質で収益性の高い農作物の安定供給体制を支援するほか、中小企業の支援や地域特産物の販路拡大など、『経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上』に取り組んでいます。
		14	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	県外での観光キャンペーンや七夕まつり・犬っこまつり等イベント開催への支援のほか、商店街活性化に関する補助金の交付など、「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」に取り組んでいます。
		15	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進団体の体制強化	観光施設の維持管理のほか、観光物産団体の組織体制を確立するための支援など、「観光客の受入環境の整備・充実と観光推進団体の体制強化」に取り組んでいます。
		16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成	農林業の担い手や地場産業の後継者を確保・育成するため、技術取得等の支援のほか、首都圏から湯沢市に移り住む方を地域おこし協力隊として委嘱するなど、「全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成」に取り組んでいます。
		17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	企業誘致の促進や雇用のミスマッチ解消を図るとともに、市内における起業・創業の支援など、「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」に取り組んでいます。
4章	◇ 文化・教育・スポーツ	18	農山村交流及び国際交流の活性化	様々な地域や団体との交流を通じて地域の魅力を感じてもらおうとともに、地域への愛着心を育むため、都市農村交流や友好都市等との国際交流を行うなど、「農山村交流及び国際交流の活性化」に取り組んでいます。
		19	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	ジオパークの普及・啓発活動やジオパークを対象とした学術調査・研究活動を支援するなど、「ジオパークの普及促進と調査・研究の支援」に取り組んでいます。
		20	学校教育の充実	学習環境の整備や基礎的学習の充実のほか、ふるさと教育・キャリア教育等を推進するなど、「学校教育の充実」に取り組んでいます。
		21	生涯学習の推進	生涯にわたる学習機会を提供するため、出前講座やトレッキング・陶芸教室等を行うなど、「生涯学習の推進」に取り組んでいます。
		22	スポーツ活動の推進	学校体育施設の無料開放やスポーツ大会等の開催のほか、スポーツ関係団体を支援するなど、「スポーツ活動の推進」に取り組んでいます。
		23	文化の保護・継承・活用	市民が音楽に親しむ機会を増やすため、月イチコンサートを開催しているほか、文化財の保護・活用を推進するなど、「文化の保護・継承・活用」に取り組んでいます。
5章	▲ 防災・生活	24	防災危機対策の推進	消防施設等の整備と消防団の体制強化を図るほか、災害に備える対策を行うなど、「防災危機対策の推進」に取り組んでいます。
		25	優れた自然環境の保全	マツ枯れ・ナラ枯れの被害拡大を防ぐ対策や河川への稚魚放流活動支援など、「優れた自然環境の保全」に取り組んでいます。
		26	安心な生活環境の構築	地熱をはじめとした再生可能エネルギーの活用推進のほか、住環境を快適にするため、ごみ処理や交通安全・防犯対策など、「安心な生活環境の構築」に取り組んでいます。
		27	計画的な土地利用と市街地整備の推進	都市計画道路の見直しや市営住宅の管理など、「計画的な土地利用と市街地整備の推進」に取り組んでいます。
		28	公共交通の整備と利用促進	高齢者等の移動手段を確保するため、路線バスの運行補助や乗合タクシーの運行など、「公共交通の整備と利用促進」に取り組んでいます。
		29	まちの動脈となる道路等の整備	安全・安心で快適な通行を確保するため、道路や橋の整備など、「まちの動脈となる道路等の整備」に取り組んでいます。
		30	道路等除排雪体制の充実	冬期間の交通や生活の安全を確保するため、除排雪の実施など、「道路等除排雪体制の充実」に取り組んでいます。
		31	社会インフラの充実	公共施設の長寿命化や統廃合などの推進のほか、安全な水の供給と下水道等整備による公衆衛生の向上、情報基盤の整備など、「社会インフラの充実」に取り組んでいます。

2. 年代、地域別による評価

(2-1) ライフステージ別

■ ライフステージ分類の考え方

市政に対する市民の関心や現状の生活に対する満足度・重要度の度合いは、その市民の置かれているライフステージ（年代、家族形態、同居家族の有無などによって定義される人生の段階）によって異なります。ライフステージによって異なる市民の満足度・重要度の傾向を明らかにすることにより、各ライフステージの市民を対象とした施策を考える際の参考情報とします。本分析では、「年代」、「家族構成」、「子どもの有無」の三つの属性に関する回答で、市民を次ページの七つのライフステージに分類しました。このうち、「①10～50 歳代・15才未満の子どもがいない世帯」、「②10～50 歳代・15歳未満の子どもがいる世帯」、「⑤60 歳以上・夫婦のみ世帯」、「⑥60 歳以上・多世代世帯」の4つの分類において、該当する市民とそれ以外の市民の満足度・重要度の回答傾向の違いを、統計的検定（t 検定）を用いて明らかにしました。なお、「③10～40 歳代・その他」、「④60 歳以上・単身世帯」、及び「⑦60 歳以上・その他」については、対象サンプルが少なく特徴が捉えにくいいため、統計的検定を行わず、以降のページに結果を記載していません。

ライフステージごとの各施策に対する満足度及び重要度は次ページ以降に示した通りであり、印をつけた箇所は、他のライフステージに比べて、統計的に有意に高い又は低い水準となっています。なお、文中の「高い」「低い」という文言は、他のライフステージと比較した際に、相対的に「高い」又は「低い」ことを表しています。

		家族構成				
		単身世帯	夫婦のみ世帯	2～3世代	その他	
年代	10歳代	ライフステージ① (子ども無し)		ライフステージ② (子ども有り)		ライフ ステージ ③
	20歳代					
	30歳代					
	40歳代					
	50歳代					
	60歳代	ライフステージ④	ライフステージ⑤	ライフステージ⑥	ライフステージ⑦	
	70歳以上					

(※注) 60 歳以上は、独居老人や夫婦のみ世帯など、小規模世帯の傾向を把握するため、ライフステージ④及び⑤を設置。

■ 標本規模

ライフステージ	分類			回答数	割合 (%)
	【問2】年齢	【問5】家族構成	【問6】子どもの有無		
①10～50 歳代 15歳未満の子どもがいない世帯	10～50 歳代	単身世帯、夫婦のみ世帯、多世代世帯	—	166	30.7
②10～50 歳代 15歳未満の子どもがいる世帯	10～50 歳代	多世代世帯、その他	15歳未満の子どもがいる	143	26.5
③10～50 歳代 その他	10～50 歳代	上記①～②以外		24	4.4
④60 歳以上 単身世帯	60歳代、70 歳以上	単身世帯	—	33	6.1
⑤60 歳以上 夫婦のみ世帯	60歳代、70 歳以上	夫婦のみ世帯	—	90	16.7
⑥60 歳以上 多世代世帯	60歳代、70 歳以上	多世代世帯	(全て対象)	63	11.7
⑦60 歳以上 その他	60歳代、70 歳以上	上記④～⑥以外		21	3.9

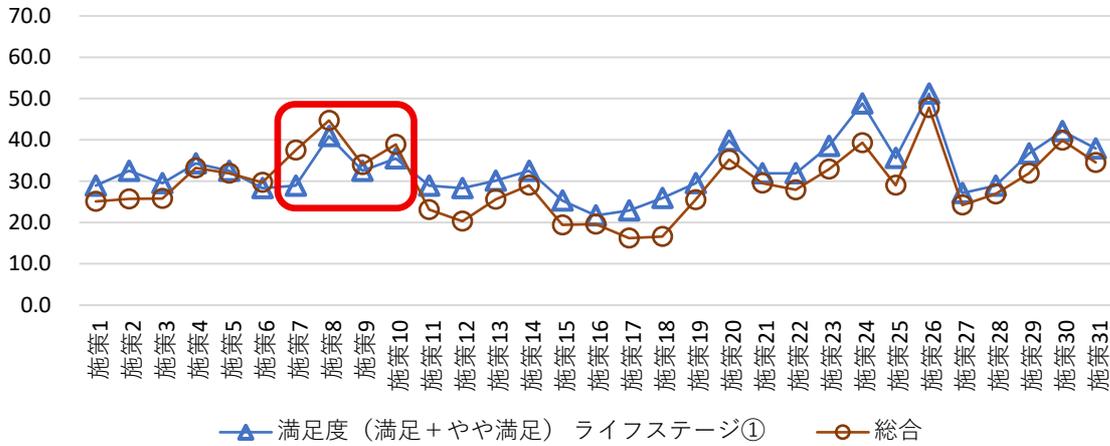
注) 年齢、家族構成について、無回答のものを除いて集計

n = 540

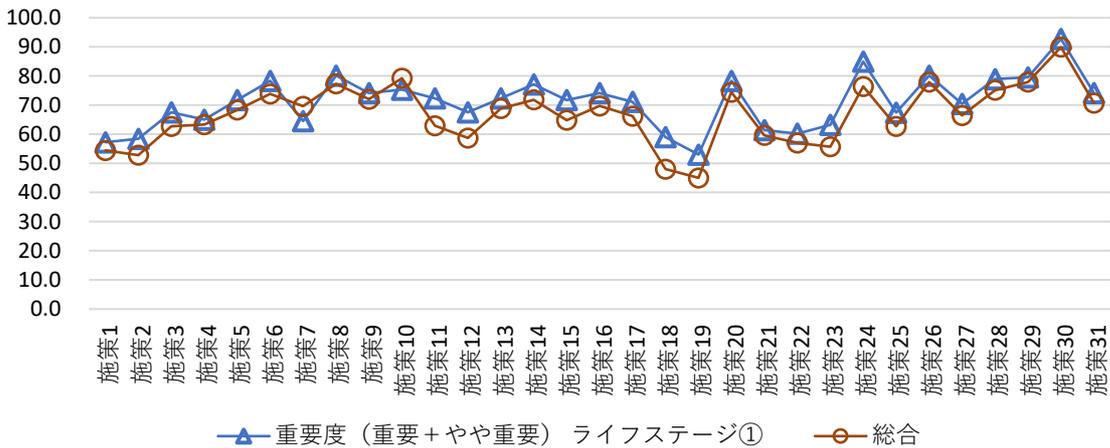
ライフステージ① 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいない世帯

－ 子育て・福祉・健康に関する満足度が低い －

<満足度>



<重要度>



<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

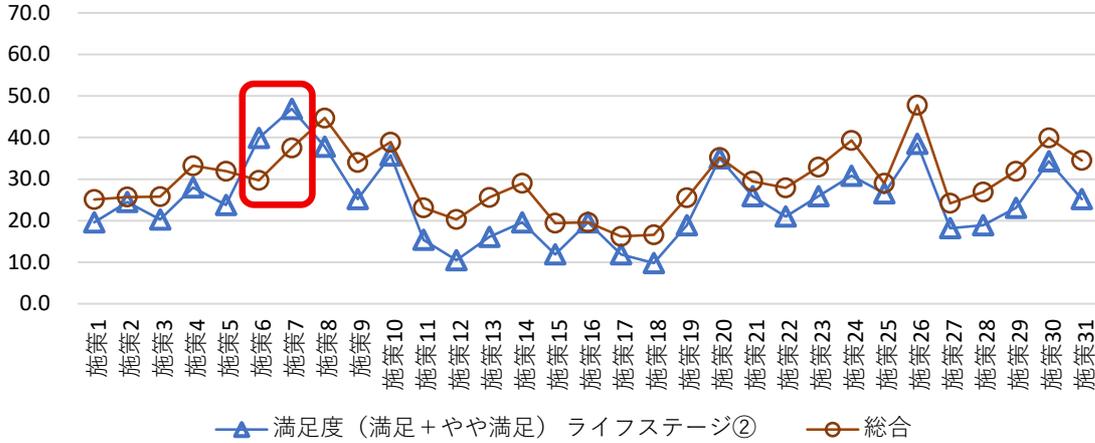
	評価	施策No.	施策名
満足度	低い	7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成
		8	心身の健康を保つ活動の充実
		9	充実した長寿生活の実現
		10	地域医療体制の確立と経済的負担軽減

- 満足度については、全体的に他のライフステージと比較して高いが、施策NO.7～10の「子育て・福祉・健康関係」が低い。
- 重要度については、他のライフステージと比較し大きな差異なし。

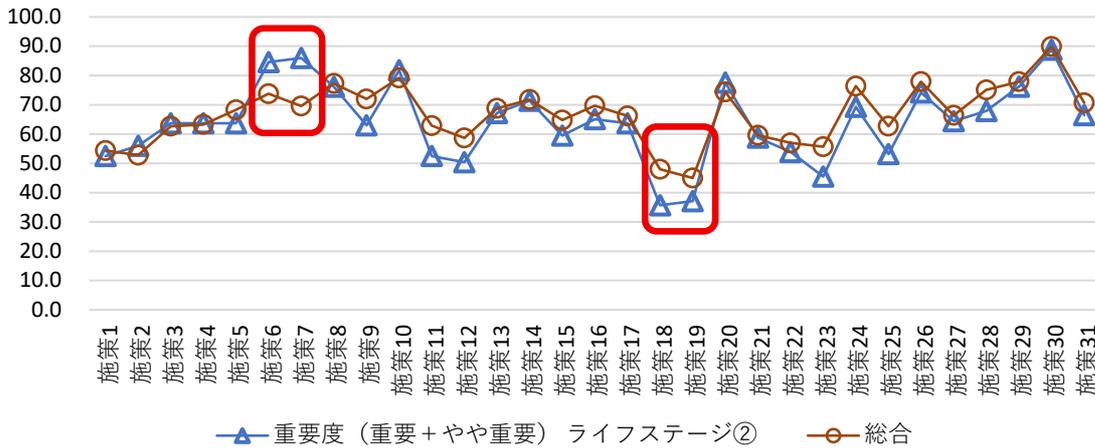
ライフステージ② 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいる世帯

－ 子育てに関する満足度・重要度の高さが顕著 －

<満足度>



<重要度>



<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

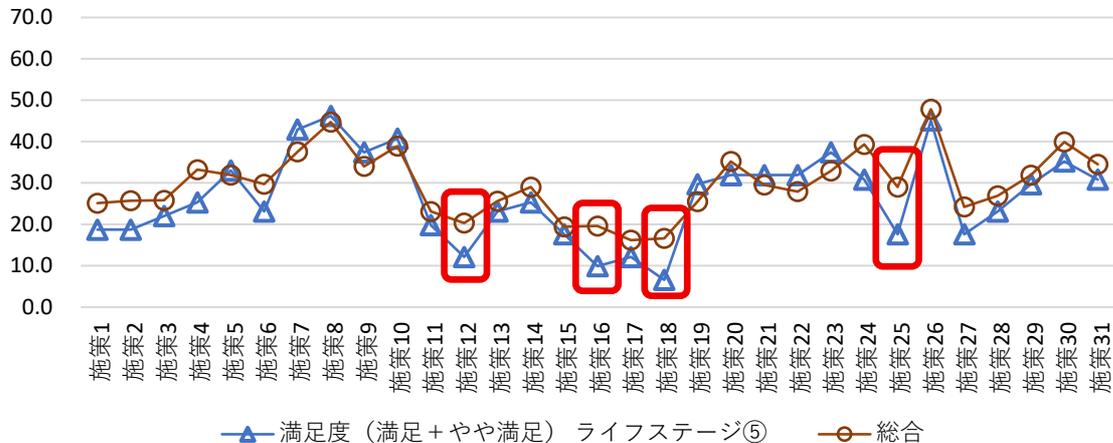
	評価	施策No.	施策名
満足度	高い	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実
		7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成
重要度	高い	6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実
		7	保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成
	低い	18	農山村交流及び国際交流の活性化
		19	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援

- 満足度については、他のライフステージと比較して全体的に低いが、施策NO.6,7の子育て関係の施策が高い。
- 重要度については、他のライフステージと比較して、施策NO.6,7の子育て関係の施策が高い。施策NO.18「農山村交流及び国際交流の活性化」、施策NO.19「ジオパークの普及促進と調査・研究の支援」については、他のライフステージと比較して低い。

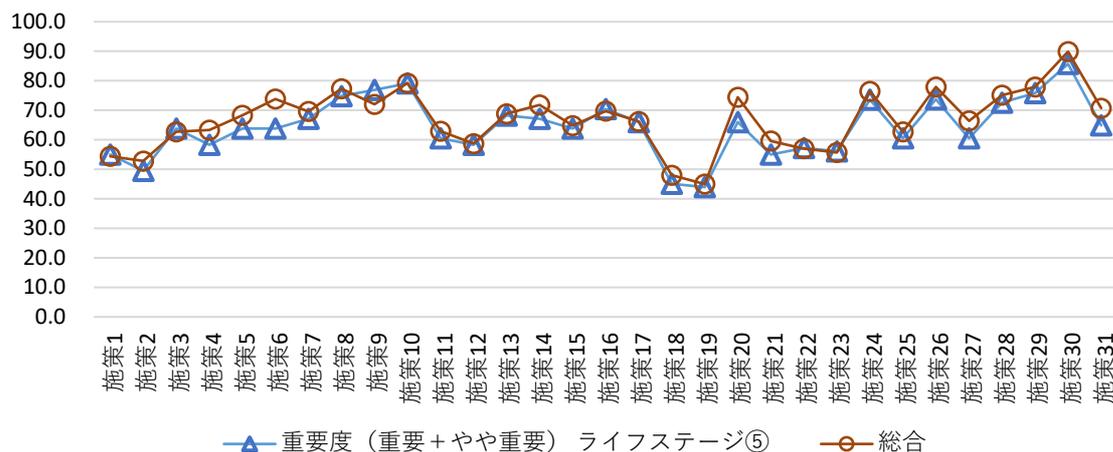
ライフステージ⑤ 60歳以上 夫婦のみ世帯

－ 産業・生活関係の満足度が低い －

<満足度>



<重要度>



<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

	評価	施策No.	施策名
満足度	低い	12	付加価値と競争力の高いものづくりの推進
		16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成
		18	農山村交流及び国際交流の活性化
		25	優れた自然環境の保全

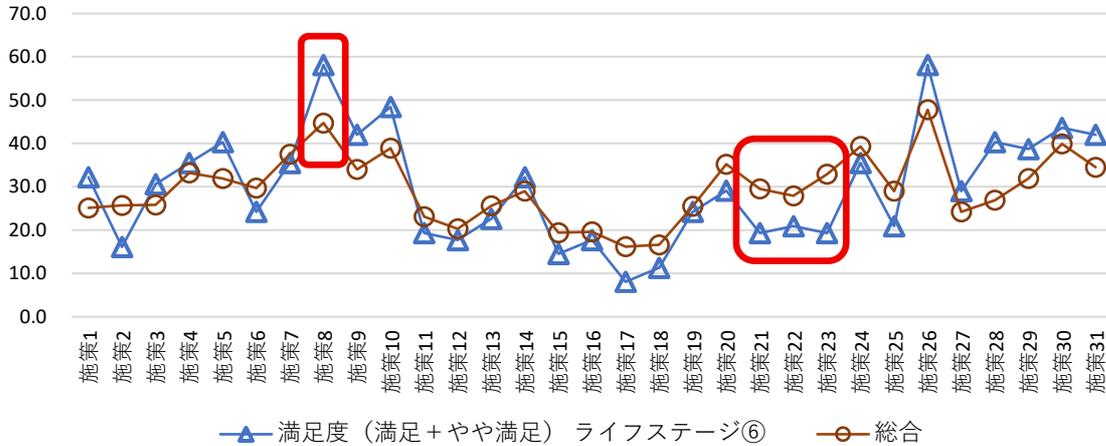
➤ 満足度については、他のライフステージと比較して施策NO.12「付加価値と競争力の高いものづくりの推進」、施策NO.16「すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成」、施策NO.18「農山村交流及び国際交流の活性化」、施策NO.25「優れた自然環境の保全」が低くなっている。

➤ 重要度については、他のライフステージと比較し大きな差異なし。

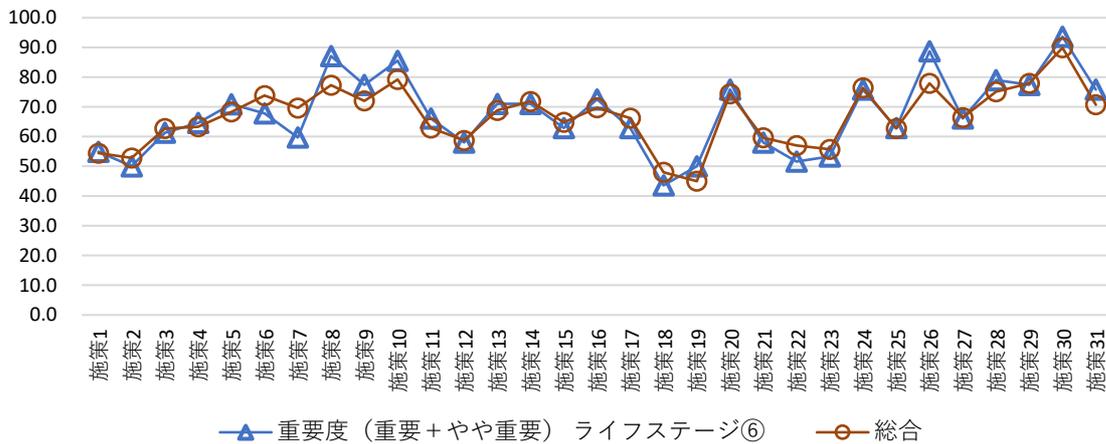
ライフステージ⑥ 60歳以上 多世代世帯

－ 文化・教育・スポーツ関係の満足度が低い －

<満足度>



<重要度>



<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

	評価	施策No.	施策名
満足度	高い	8	心身の健康を保つ活動の充実
	低い	21	生涯学習の推進
		22	スポーツ活動の推進
		23	文化の保護・継承・活用

- 満足度については、他のライフステージと比較して、NO.8「心身の健康を保つ活動の充実」が高く、NO.21～23の文化・教育・スポーツ関係が低くなっている。
- 重要度については、他のライフステージと比較し大きな差異なし。

(2-2) 性別・年代・地域別の満足度順位

※「満足」又は「やや満足」と回答した施策について、属性ごとに順位付けしたものです。

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		安心な生活環境の構築 47.8%	健康を保つ活動の充実 44.7%	道路等除排雪体制の充実 39.9%	防災危機対策の推進 39.3%	地域医療体制の確立 38.9%
性別	男性	健康を保つ活動の充実 42.8%	安心な生活環境の構築 40.8%	道路等除排雪体制の充実 38.8%	地域医療体制の確立 33.6%	情報発信力の強化 32.8%
	女性	安心な生活環境の構築 54.6%	健康を保つ活動の充実 46.9%	防災危機対策の推進 46.4%	地域医療体制の確立 44.0%	学校教育の充実 41.9%
年代	10歳代	学校教育の充実 61.6%	防災危機対策の推進 61.6%	道路等除排雪体制の充実 53.9%	地域医療体制の確立 46.2%	健康を保つ活動の充実 38.5%
	20歳代	道路等除排雪体制の充実 58.4%	安心な生活環境の構築 54.2%	防災危機対策の推進 52.1%	学校教育の充実 47.9%	文化の保護・継承・活用 45.8%
	30歳代	安心な生活環境の構築 46.8%	防災危機対策の推進 43.6%	保育所等の充実 38.3%	学校教育の充実 33.0%	文化の保護・継承・活用 33.0%
	40歳代	健康を保つ活動の充実 49.0%	学校教育の充実 39.8%	安心な生活環境の構築 38.8%	保育所等の充実 37.8%	地域医療体制の確立 35.7%
	50歳代	安心な生活環境の構築 45.0%	健康を保つ活動の充実 42.6%	道路等除排雪体制の充実 38.8%	防災危機対策の推進 38.8%	保育所等の充実 36.3%
	60歳代	健康を保つ活動の充実 54.7%	安心な生活環境の構築 53.9%	地域医療体制の確立 44.6%	保育所等の充実 39.6%	充実した長寿生活の実現 39.6%
	70歳以上	安心な生活環境の構築 51.5%	健康を保つ活動の充実 48.6%	社会インフラの充実 48.5%	道路等除排雪体制の充実 47.1%	充実した長寿生活の実現 47.1%
地域	湯沢地域	安心な生活環境の構築 48.0%	健康を保つ活動の充実 42.3%	保育所等の充実 39.1%	道路等除排雪体制の充実 38.0%	防災危機対策の推進 38.0%
	稲川地域	健康を保つ活動の充実 47.9%	安心な生活環境の構築 44.7%	防災危機対策の推進 42.6%	道路等除排雪体制の充実 40.5%	地域医療体制の確立 40.4%
	雄勝地域	安心な生活環境の構築 48.7%	道路等除排雪体制の充実 47.4%	健康を保つ活動の充実 47.3%	防災危機対策の推進 44.7%	情報発信力の強化 40.7%
	皆瀬地域	安心な生活環境の構築 60.0%	健康を保つ活動の充実 60.0%	地域医療体制の確立 60.0%	社会インフラの充実 55.0%	充実した長寿生活の実現 50.0%

施策NO.	施策名	該当数
26	安心な生活環境の構築	13
8	健康を保つ活動の充実	12
30	道路等除排雪体制の充実	9
24	防災危機対策の推進	9
10	地域医療体制の確立	8
7	保育所等の充実	5
20	学校教育の充実	5
9	充実した長寿生活の実現	3
31	社会インフラの充実	2
4	情報発信力の強化	2
23	文化の保護・継承・活用	2

(2-3) 性別・年代・地域別の重要度順位

※「重要」又は「やや重要」と回答した施策について、属性ごとに順位付けしたものです。

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		道路等除排雪体制の充実 88.9%	地域医療体制の確立 79.2%	安心な生活環境の構築 77.9%	道路等の整備 77.9%	健康を保つ活動の充実 77.3%
性別	男性	道路等除排雪体制の充実 88.8%	地域医療体制の確立 78.0%	道路等の整備 78.0%	健康を保つ活動の充実 76.4%	安心な生活環境の構築 76.0%
	女性	道路等除排雪体制の充実 90.9%	地域医療体制の確立 80.0%	安心な生活環境の構築 79.6%	防災危機対策の推進 78.9%	健康を保つ活動の充実 78.2%
年代	10歳代	道路等除排雪体制の充実 100.0%	学校教育の充実 100.0%	文化の保護・継承・活用 92.4%	にぎわいの創出 92.3%	公共交通の整備と利用促進 92.3%
	20歳代	道路等除排雪体制の充実 89.6%	結婚、妊娠、子育て支援 81.3%	道路等の整備 81.2%	安心な生活環境の構築 79.2%	にぎわいの創出 77.1%
	30歳代	道路等除排雪体制の充実 89.3%	結婚、妊娠、子育て支援 83.0%	防災危機対策の推進 76.6%	保育所等の充実 75.6%	道路等の整備 74.5%
	40歳代	道路等除排雪体制の充実 90.9%	地域医療体制の確立 82.6%	健康を保つ活動の充実 81.7%	結婚、妊娠、子育て支援 80.6%	学校教育の充実 79.6%
	50歳代	道路等除排雪体制の充実 93.8%	道路等の整備 83.8%	公共交通の整備と利用促進 82.6%	健康を保つ活動の充実 81.3%	防災危機対策の推進 81.3%
	60歳代	道路等除排雪体制の充実 89.2%	地域医療体制の確立 87.8%	健康を保つ活動の充実 81.3%	安心な生活環境の構築 80.6%	道路等の整備 80.5%
	70歳以上	道路等除排雪体制の充実 83.8%	安心な生活環境の構築 78.0%	充実した長寿生活の実現 72.1%	公共交通の整備と利用促進 72.1%	社会インフラの充実 72.0%
地域	湯沢地域	道路等除排雪体制の充実 90.0%	地域医療体制の確立 80.3%	道路等の整備 77.7%	安心な生活環境の構築 77.4%	防災危機対策の推進 76.3%
	稲川地域	道路等除排雪体制の充実 88.3%	健康を保つ活動の充実 84.1%	安心な生活環境の構築 82.0%	地域医療体制の確立 81.9%	にぎわいの創出 78.7%
	雄勝地域	道路等除排雪体制の充実 90.7%	道路等の整備 80.3%	公共交通の整備と利用促進 80.2%	健康を保つ活動の充実 77.6%	防災危機対策の推進 77.6%
	皆瀬地域	道路等除排雪体制の充実 90.0%	道路等の整備 90.0%	安心な生活環境の構築 85.0%	学校教育の充実 85.0%	地域医療体制の確立 85.0%

施策NO.	施策名	該当数
30	道路等除排雪体制の充実	14
26	安心な生活環境の構築	9
29	道路等の整備	9
10	地域医療体制の確立	8
8	健康を保つ活動の充実	8
24	防災危機対策の推進	5
28	公共交通の整備と利用促進	4
20	学校教育の充実	3
6	結婚、妊娠、子育て支援	3
14	にぎわいの創出	3

3. 設問間の相関関係

■ 相関関係とは

年齢と収入のように、1つのデータの変化に伴って、もう1つのデータも変化するような関係を相関関係といい、1つのデータが増えるとき、もう1つのデータも増えるような関係を正の相関関係といいます。

■ 設問間の相関関係

本調査の施策に関する設問1から31のうち、「住みやすさ」、「愛着や誇り」、「住みつづけたい」に関する設問との相関関係を把握するため、相関係数（係数は-1から+1の間の値をとり、その値が1に近いほど正の相関関係が強いことを示す。）を算出して、その結果を次ページ以降に示しました。

また、重点的な取り組みが必要であると分析された以下8施策についても掲載しました。

施策NO.	施策名
6	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実
13	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上
14	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出
16	すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成
17	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援
28	公共交通の整備と利用促進
29	まちの動脈となる道路等の整備
30	道路等除排雪体制の充実

<注意事項>

相関係数はいくつかの方法により算出することができますが、ここでは、通常用いられるピアソンの相関係数により算出しています。設問における選択肢は順位尺度となりますが、その値の差が等しい間隔尺度として仮定した上で、相関係数を算出しています。

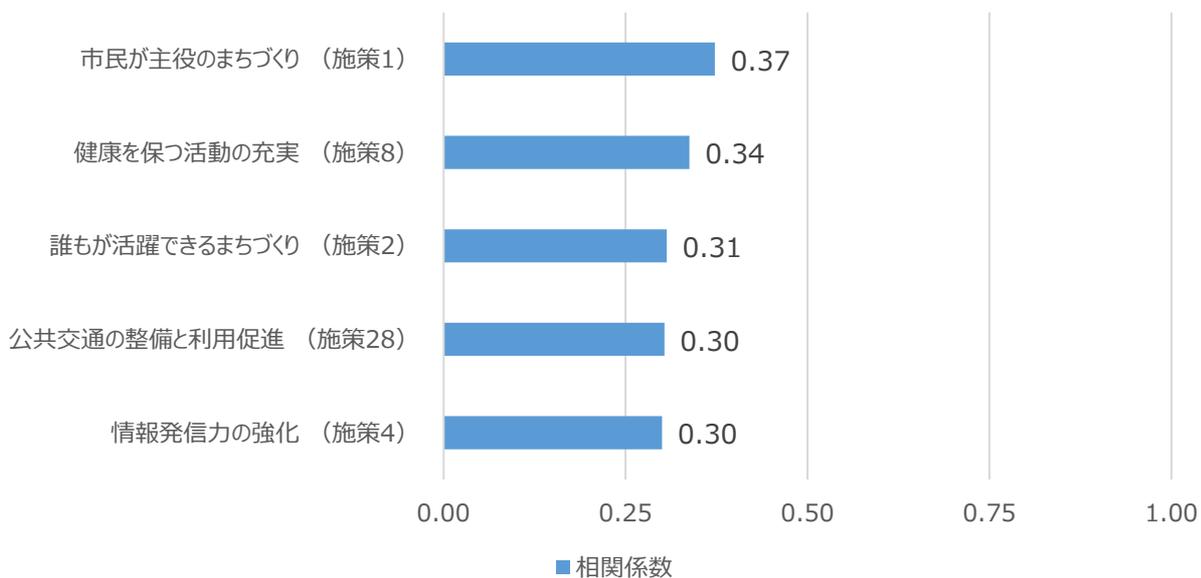
例えば、施策6の「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」については、選択肢を、

1)満足、2)やや満足、3)やや不満、4)不満、に並び替え、その間隔が等しいと仮定し算出しています。

※どちらともいえない、無回答は除外

(3-1) 問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」との相関関係

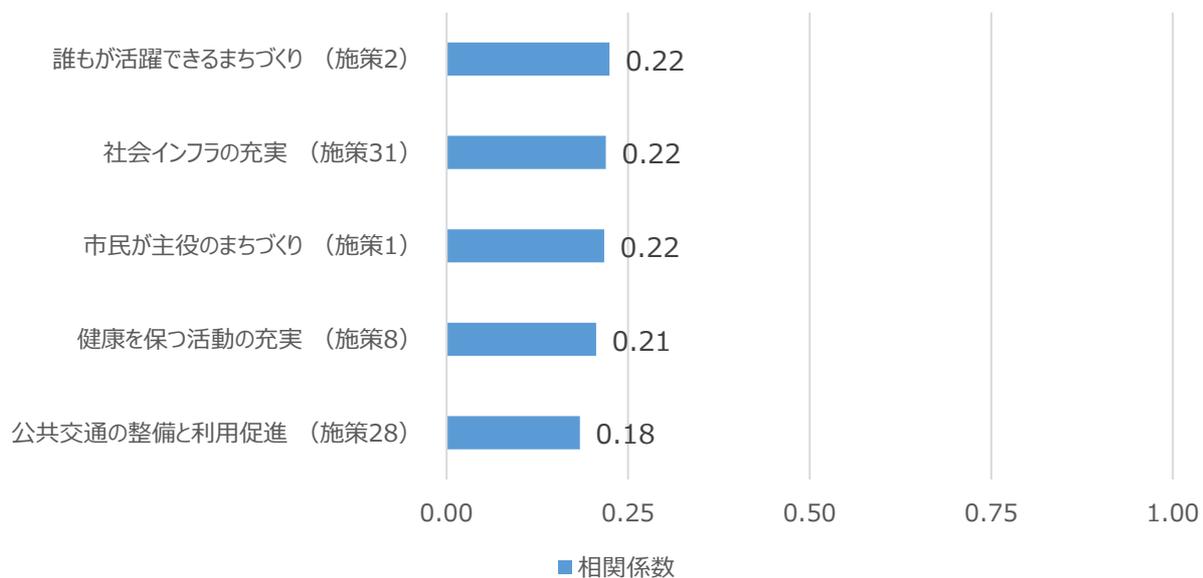
問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」と各設問（施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「市民が主役のまちづくり」の0.37となり、次いで「健康を保つ活動の充実」の0.34、「誰もが活躍できるまちづくり」の0.31、「公共交通の整備と利用促進」と「情報発信力の強化」の0.30となった。
- 「市民活動・情報発信」に関する施策との相関関係が強い。

(3-2) 問9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」との相関関係

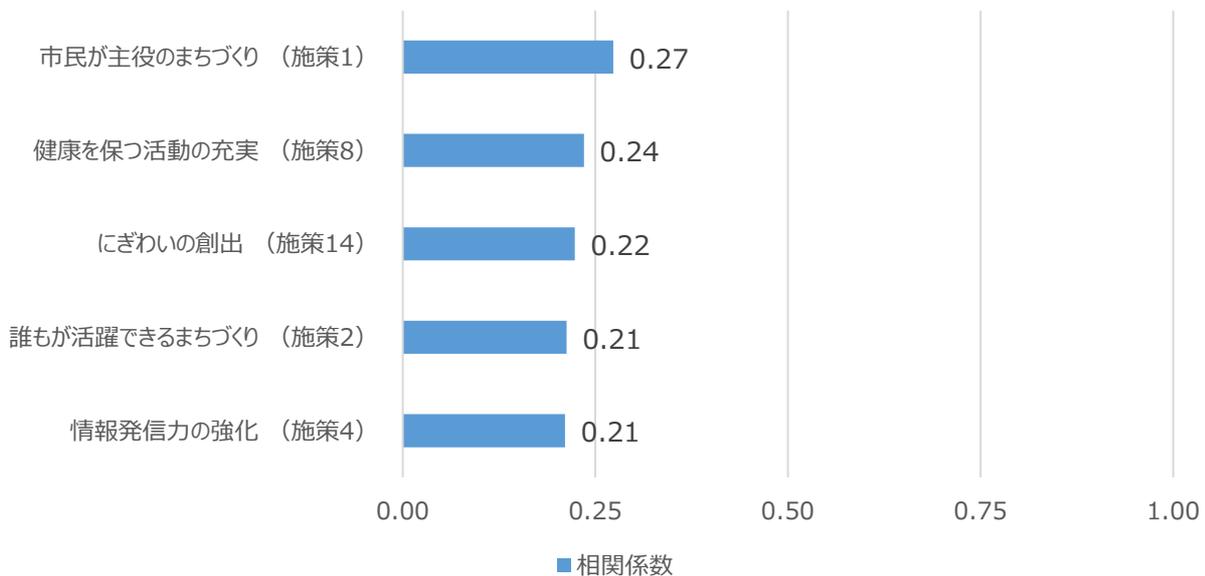
問9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」と各設問（施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「誰もが活躍できるまちづくり」と「社会インフラの充実」さらに「市民が主役のまちづくり」の0.22となり、次いで、「健康を保つ活動の充実」の0.21、「公共交通の整備と利用促進」の0.18となった。
- 「市民活動・情報発信」「防災・生活」に関する施策との相関関係が強い。

(3-3) 問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」との相関関係

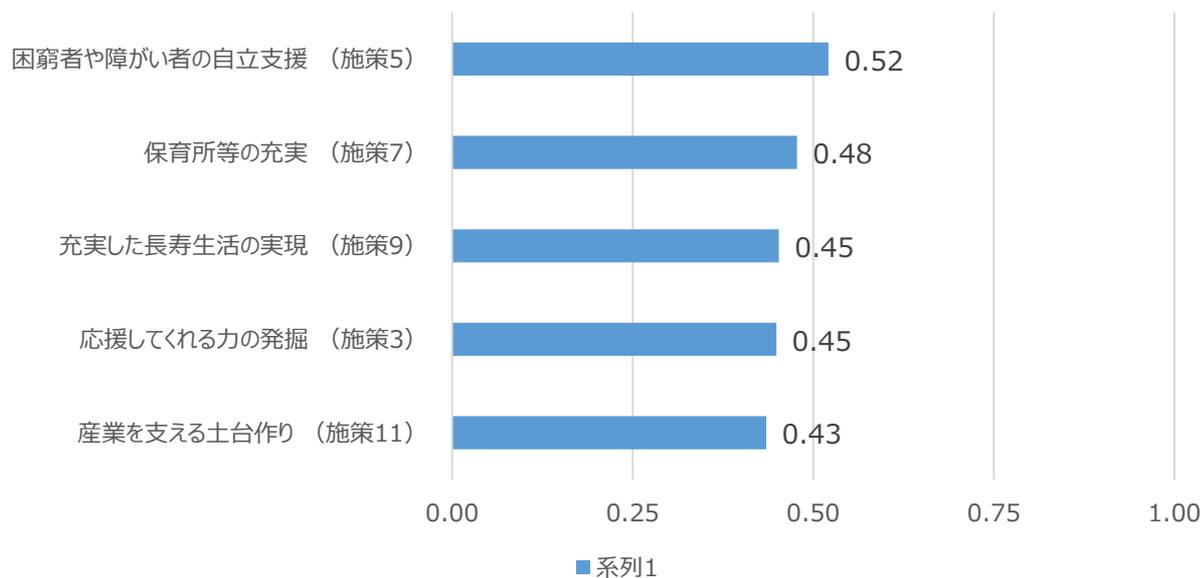
問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」と各設問（施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「市民が主役のまちづくり」の0.27となり、次いで「健康を保つ活動の充実」の0.24、「にぎわいの創出」の0.22、「誰もが活躍できるまちづくり」と「情報発信力の強化」の0.21となった。
- 「市民活動・情報発信」に関する施策との相関関係が強い。

(3-4) 施策6「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」との相関関係

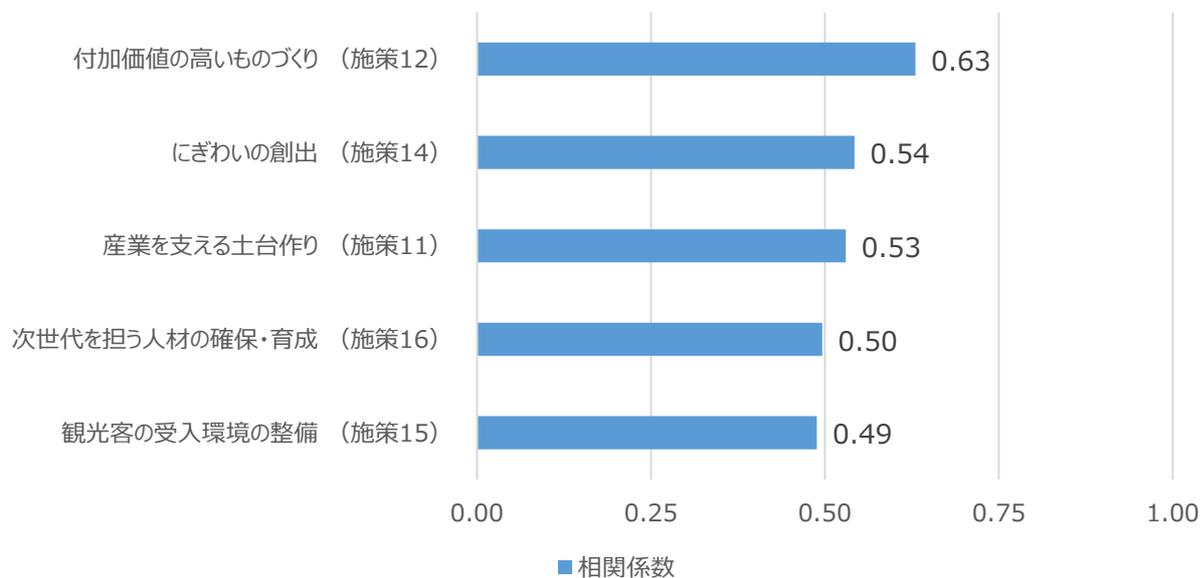
施策6「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「困窮者や障がい者の自立支援」の0.52となり、次いで「保育所等の充実」の0.48、「充実した長寿生活の実現」と「応援してくれる力の発掘」の0.45、「産業を支える土台作り」の0.43となった。
- 「子育て、福祉、健康」に関する施策との相関関係が強い。

(3-5) 施策13「経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上」との相関関係

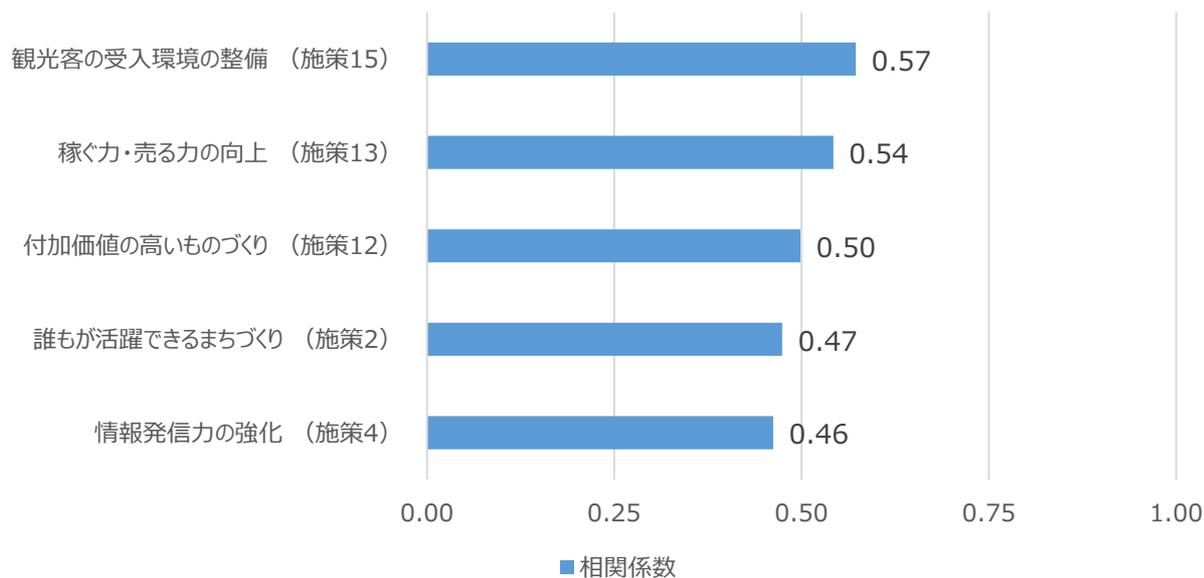
施策13「経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「付加価値の高いものづくり」の0.63となり、次いで「にぎわいの創出」の0.54、「産業を支える土台作り」の0.53、「次世代を担う人材の確保・育成」の0.50、「観光客の受入環境の整備」の0.49となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

(3-6) 施策14「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」との相関関係

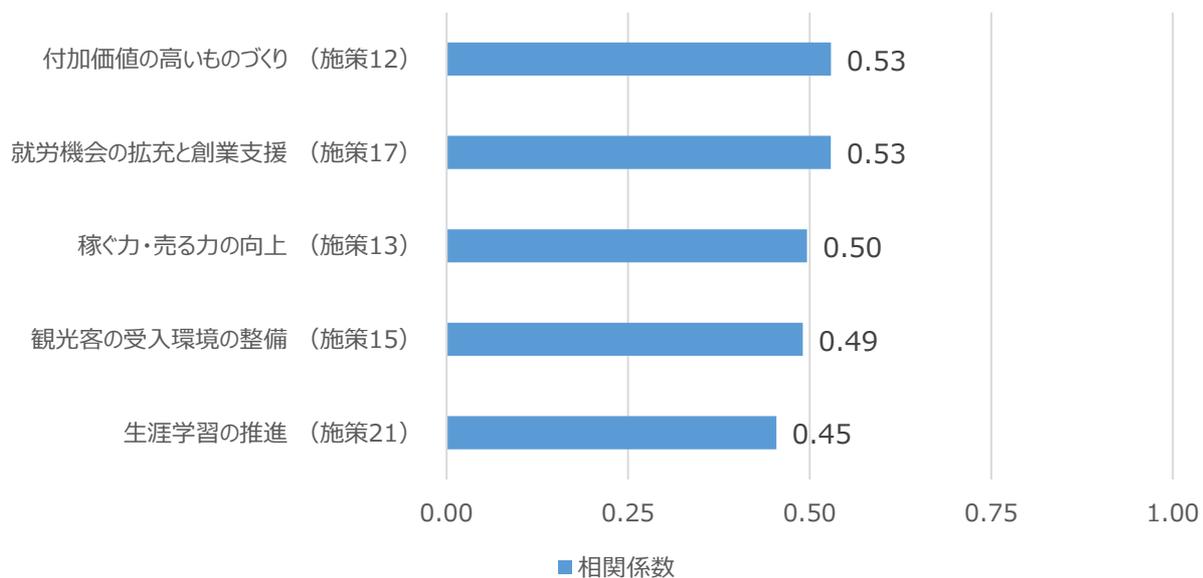
施策14「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「観光客の受入環境の整備」の0.57、次いで「稼ぐ力・売る力の向上」の0.54、「付加価値の高いものづくり」の0.50、「誰もが活躍できるまちづくり」の0.47、「情報発信力の強化」の0.46となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

(3-7) 施策16「すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成」との相関関係

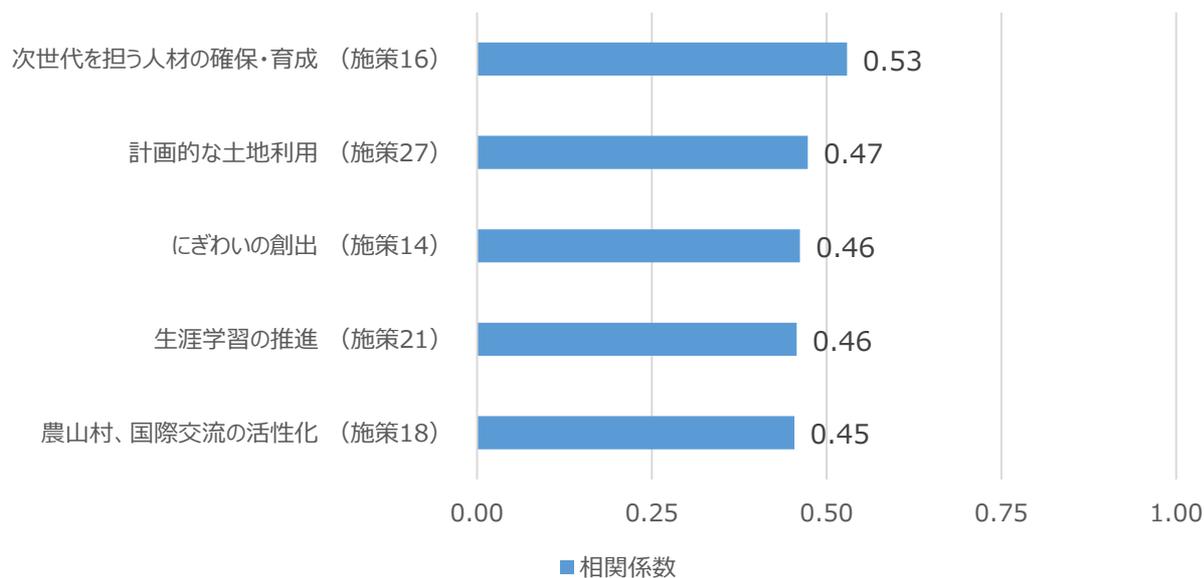
施策16「すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「付加価値の高いものづくり」と「就労機会の拡充と創業支援」の0.53となり次いで、「稼ぐ力・売る力の向上」の0.50、「観光客の受入環境の整備」の0.49、「生涯学習の推進」の0.45となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

(3-8) 施策17「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」との相関関係

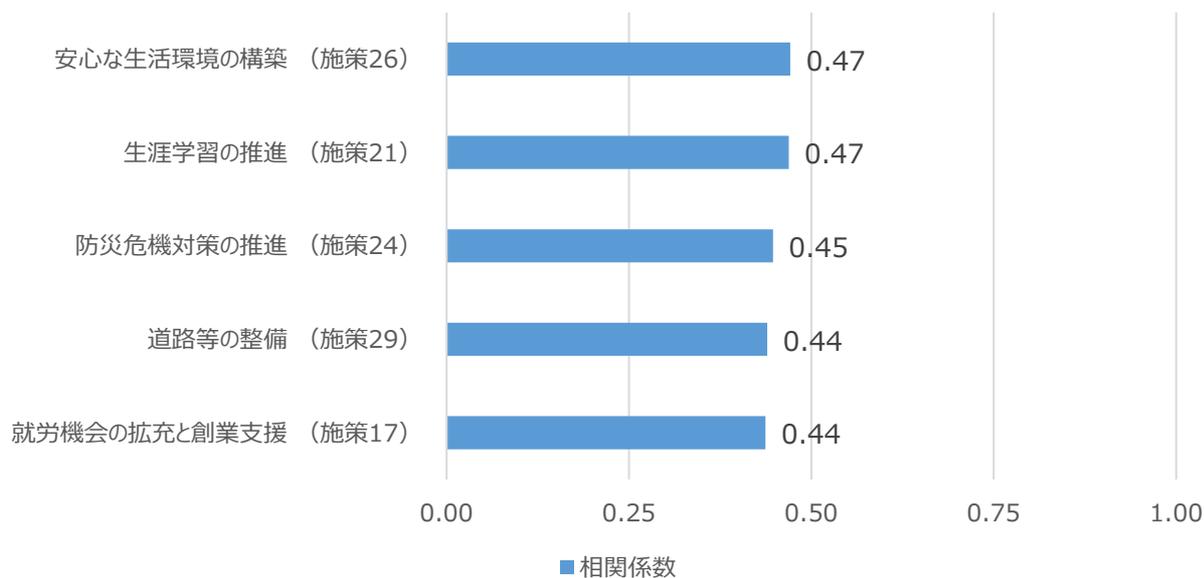
施策17「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「次世代を担う人材の確保・育成」の0.53、次いで「計画的な土地利用」の0.47、「にぎわいの創出」と「生涯学習の推進」の0.46、「農山村、国際交流の活性化」の0.45となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策、「文化・教育・スポーツ」に関する施策との相関関係が強い。

(3-9) 施策28「公共交通の整備と利用促進」との相関関係

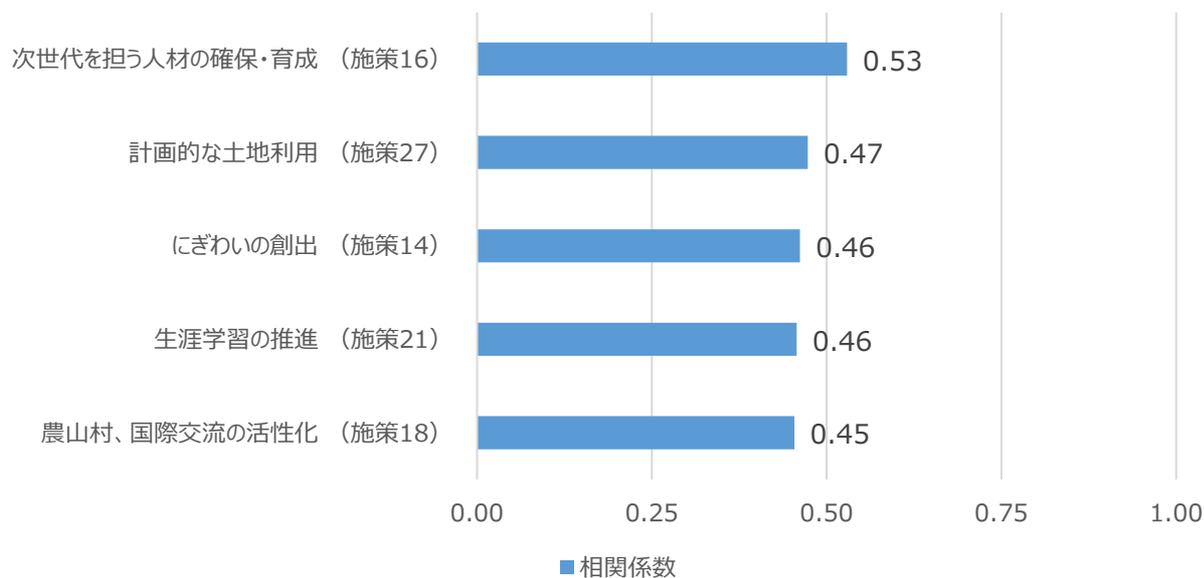
施策28「公共交通の整備と利用促進」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「安心な生活環境の構築」と「生涯学習の推進」の0.47となり、次いで「防災危機対策の推進」の0.45、「道路等の整備」と「就労機会の拡充と創業支援」の0.44となった。
- 「防災・生活」に関する施策との相関関係が強い。

(3-8) 施策29「まちの動脈となる道路等の整備」との相関関係

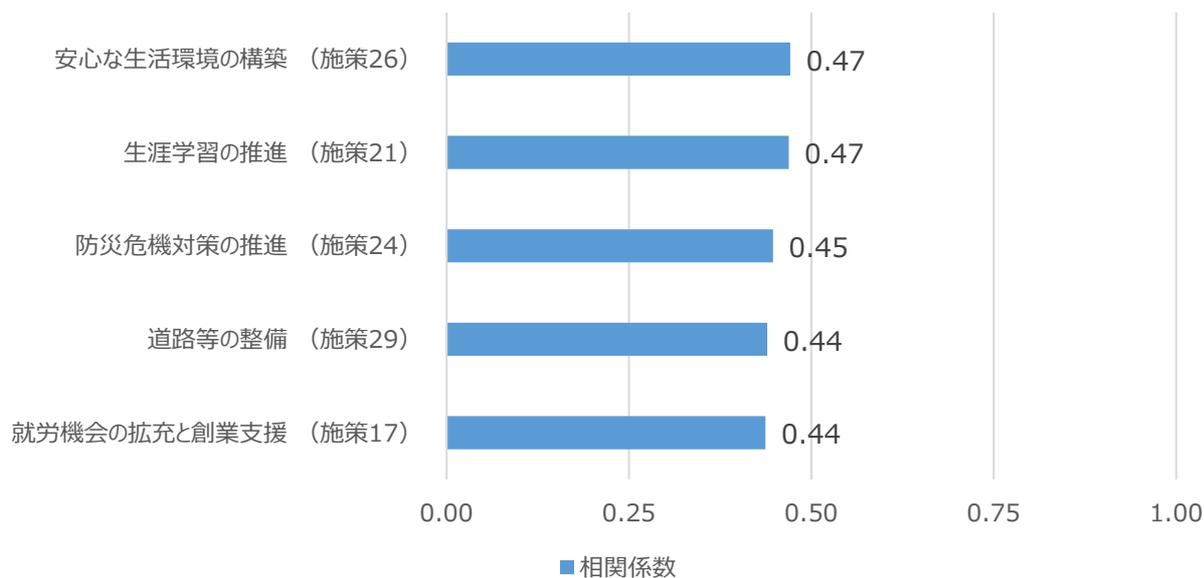
施策29「まちの動脈となる道路等の整備」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「次世代を担う人材の確保・育成」の0.53となり、次いで「計画的な土地利用」の0.47、「にぎわいの創出」と「生涯学習の推進」の0.46、「農山村、国際交流の活性化」の0.45となった。
- 「産業・観光・雇用」「文化・教育・スポーツ」に関する施策との相関関係が強い。

(3-9) 施策30「道路等除排雪体制の充実」との相関関係

施策30「道路等除雪排雪体制の充実」と各設問（問8、9、10、施策1～31）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「安心な生活環境の整備」と「生涯学習の推進」の0.47となり、次いで「防災危機対策の推進」の0.45、「道路等の整備」と「就労機会の拡充と創業支援」の0.44となった。
- 「防災・生活」に関する施策との相関関係が強い。

4. 自由意見

市民アンケートの自由意見を、記載内容ごとに大きく以下の7項目に分類し、そのうち代表的な意見を記載しています。

<自由意見の記載内容>

分類
(1) 暮らしに関わる意見
(2) 福祉に関わる意見
(3) 教育・文化に関わる意見
(4) 産業に関わる意見
(5) 広報・広聴に関わる意見
(6) 施設・場所に関わる意見
(7) 行政全般に関わる意見

(1) 暮らしに関わる意見
雪の捨て場に困っている。空き地の確保や流雪溝の時間拡大をお願いしたい。
朝の早い時間帯までに道路や歩道の除雪を終わらせてほしい。
高齢者や女性だけの家庭の雪下ろしは大変。(人手、機械等の) 助成があると、雪国でも住みたいと思える。
買い物が不便になった。特に高齢者が不便を感じている。
乗合タクシーを続けてほしい。土日も運行してほしい。
運転免許返納後の移動手段の確保(バスの市内無料制度など)。
高校生の医療費助成があると助かる。
空き家や空き地の利活用の検討(移住・定住やウクライナからの避難民など)。
防災行政無線が聞こえない。本当に大切なお知らせをみんなが聞かずに災害につながることを心配している。

(2) 福祉に関わる意見
保育料が高すぎて困っている。3～5歳だけではなく、0～2歳も無料にしてほしい。
子育ての支援が少なく、妊娠出産に不安がある。
働く世代、子育て世代が住みよいまちになるとよい。サービスもそうだが、やはり金銭的なサポートがあるとありがたい。
医療の充実。雄勝中央病院で何の科でも安心して診てもらえるようにしてほしい。横手市の病院の方が安心して受診や入院ができる。
高齢者、障がい者、子育て世帯だけに様々な支援があるが、本当に生活が大変な世帯への支援が少ない。低所得世帯への支援がほしい。

(3) 教育・文化に関わる意見
部活動やスポーツ少年団の環境(練習場所や指導者など)を整えるべき。
子どもの給食費や教材費にお金がかかってしまう。
学校再編により、子供たちの通学が大変になっている。スクールバスの規定で乗れるか乗れないかの範囲が決まっているようだが、もう少し柔軟に対応してほしい。
ジオパークや地熱はすばらしいことなので、小学生などに体験させてあげてほしい。
音楽活動や創作活動の発表の場や、工芸や体操など各種教室を充実させてほしい。

(4) 産業に関わる意見
市中心部（駅前や商店街）の人の動きがとてもさびしい。買い物も魅力がない。
若者が働くところがない。魅力的な企業がない。企業誘致による雇用の創出に力を入れて取り組むべき。
将来を担う若者が就労で定着できる政策にさらに力を入れていただきたい。
大型倉庫型店舗や、大型商業施設等の誘致に力を入れてほしい。
ファーストフード店やカフェなどがあるとよい。
地熱を活用した観光の推進、商品開発、施設の建設などができればよい。

(5) 広報・広聴に関わる意見
湯沢には豊かな自然やすばらしい文化などがあるが、他市町村に比べうまく魅力を発信できていないと思う。
SNSを活用した情報発信を積極的に行うべき。
市の施策や行政サービスがたくさんあることをもっと市民に伝えるべき。今回のアンケートでわかった施策や行政サービスがたくさんあった。
市民が意見や提案を気軽に出せるようにした方がよい。（書面、インターネットサイト、SNSなど）
もっと若者の意見や希望を反映させられる仕組みがほしい。

(6) 施設・場所に関わる意見
子供たちが安心して遊べる公園や、夏場や雨の日でも楽しめる屋内施設があるとよい。
若者が楽しめる場所や施設がない。
認知症予防やフレイル予防ができるような高齢者が集える施設があればよい。
TSUTAYAの跡地を利活用して、湯沢インターチェンジ周辺の整備をするべき。
柳町の再開発の再検討をお願いしたい。
駅周辺に商業施設や教育・文化施設を集めて、駅周辺から活気を出させるべき。
学校統合により使用されなくなった学校の利用について検討してほしい。
まともな野球場がない、スキー場が次々と閉鎖されるなど、スポーツ施設が貧弱である。

(7) 行政全般に関わる意見
高齢者が多くなり、サービスは必要だけれども次世代の方に負担が残ってはいけなと思う。
湯沢市の魅力が何なのかよくわからない。自慢できるものがない。ずっと住み続けたいとも思わない。
他市町村で行っている事業等を積極的に取り入れる、湯沢流に整えることを検討してはどうだろうか。
このアンケートに意味があるのか。アンケートに税金を使うなら、もっと経済的負担をなくす取組をすべき。
職員には一般市民の気持ちになって仕事をしてほしい。行政・議会等と市民との認識の差が大きい。
若い人を育てる。若い職員の意見を聞き、反映して、未来のための市づくりをしてほしい。
「予算がないからできない」は詭弁だと思う。知恵を出し、工夫をしてほしい。
行政費用の削減。事業やお金の使い道を見直してほしい。